

2022-23 年度RI 会長 シェフアー・ジョーンズ (カナダ: ウィンザー・ローズランドRC) 第2820地区ガバナー大野治夫 (つくば学園RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



2023. 3. 2
第 2044 回例会

会長 山口憲生 会長R/ト 鈴木崇久 幹事 佐藤泰子

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



3月は水と衛生月間です

会長挨拶 山口憲生 会長



今日は外部卓話、テーマ卓話（水と衛生月間）として日立市企業局上下水道部からお二人の課長さんをお迎えし日立市の水資源についてお話しいただきます。私は現役時代、日立製作所日立工場の総務部門で会社の歴史も担当したのですが、どの鉱山まちでも、鉱山が社員に電気や水道を自前で供給していたもので、日立製作所も日立鉱山のまねをして日立水道会社を作り、増加する社宅に供給していました。終戦後これを日立市に移管し、日立市の水道事業の始まりになりました。工業用水の方は以前にお話ししました通り、やはり自前で久慈川から取水し、今でも 6 号国道わき等を通して日立地区の工場に配水しています。昭和 44 年、私の入社当時はこの水でお湯を沸かしお茶を飲んでいましたが、おかげでやかんの底に石灰が厚く固まっていたのを記憶します。（市の水道代をケチったため？）今日は、私たちの上水道がどうなっているかを伺い、身の回りの「水資源」について認識を深めたいと思います。

なお別件ですが、来期のクラブ理事選任について、12 月の決定に対し、欠員 1 名には小泉浩一会員を、理事就任辞退のあった額賀儀秀会員の代わりには佐藤邦裕会員を理事とするよう理事会で推薦されましたので、この例会（総会充足数を満たす例会）でご承認いただきたいと思います。（会場に諮り承認）

以上で会長挨拶を終わります。

（例会終了点鐘時の一言コメント：昔子供のころ「なぞなぞ」で「ヒネルトジャーとは？」なんて当たり前のもののように感じていた水道が、今日の卓話で、アフリカなどの水資源問題等同様、私たちのすぐ足元の問題であることが認識されまし

た。こうした市の事業を私たちも支援申し上げなくては、と感じた次第です。）

例会報告

- 開会点鐘 山口憲生 会長
- 国歌斉唱 「君が代」
- R ソング 「奉仕の理想」
- 唱和 「四つのテスト」

本日のビジター紹介 五末美奈 親睦活動副委員長

日立市企業局 水道課長 齋藤英俊様
同 浄水課長 本多仁志様
ようこそいらっしゃいました。

今月の誕生日祝い 五末美奈 親睦活動副委員長

- 太田秀夫さん（3日）
- 根本成二さん（8日）
- 木村昌永さん（15日）



今月の結婚記念祝い 五末美奈 親睦活動副委員長

- 鈴木 稔さん（9日）
- 鈴木起一さん（12日）



出席報告 山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	22	64.71%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席3名)	12	100.0%

本日の食事メニュー：弁当

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- 岩田秀邦さん…結婚して 56 年になりました。妻に大感謝です。今はただ 6 代目の孫が一人前の商人になるまで元気で頑張りたいです。(2 月結婚祝い)
- 鈴木稔さん…結婚して 48 年。今の私があるのは妻のおかげです。可愛かった妻もしわや白髪が目立つようになりました。それに気づくにつけ、もっと大切にしなくちゃ…と思います。
- 太田秀夫さん…明日 (3/3) で 73 歳になります。五黄の寅のひなまつり生まれ。とにもかくにも健康第一です。
- 木村昌永さん…年度末の 3 月生まれです。58 歳になります。定年までもう少し頑張ります。

目標 1,266,000 円

人頭分担金 14,000 円

本日のご芳志 10,000 円

トータル 1,057,700 円

幹事報告

佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・地区研修・協議会のご案内
- ・地区研修・協議会登録料振込みのお願い
- ・米山奨学生世話クラブのお引き受けについて
- ・第 10 回全国インターアクト研究会開催について
- ・国際大会ニュース (特別版)
- ・ガバナーノミニエ・デジグネット推薦について
- ・ハイライトよねやま 275 号
- ・第 58 回ひたちさくらまつりへの協賛について
- ・3 月ロータリーレート 1 ドル= 136 円
- ・トルコ・シリア大地震支援の件
- ・ザ・ロータリアン 3 月号
- ・月信 3 月号
- ・バギオだより 3 月号

連絡

- (公財) 日立市スポーツ協会から、財団創立 30 周年、当クラブの多年わたる功績に対し感謝状の贈呈
- 2023 年 4 月 1 日から、平田伸一会員の会社名が変更となります。新社名 株式会社インフォメーション・ディベロブメント 所属：大みか事業部

第 9 回理事会報告

【審議事項】

- 1.2 月度出席率 100.0%
- 2.例会プログラムの変更
- 3.2023 学年度山記念奨学生の引き受けとカウンセラー選出について

- 4.2023-24 年度理事・役員及び委員会構成表 (案) について
- 5.トルコ・シリア大地震支援について 1000 円 / 1 人
- 6.第 10 回全国インターアクト研究会について
- 7.第 58 回日立さくらまつりへの協賛について
- 8「美化プロジェクト」インターアクター移動手段について

【審議結果】

1.2 月度出席率 100.0% : 承認

会員数 (免除除く) (M=メイクアップ)

2/2 33 名、出席 25 名 M10 名、出席率 100%

2/9 32 名、出席 21 名 M11 名、出席率 100%

2/16 34 名、出席 17 名 M17 名、出席率 100%

2.例会プログラムの変更 : 承認

3/23 (木) 小泉浩一さん卓話 → 調整中

3.米山奨学生の受入れ承認

カウンセラー：佐藤泰子会員了承。

4.欠員だった理事 2 名は小泉浩一会員・佐藤邦裕会員が推薦され例会で承認された。4/23 地区研修・協議会出席者は決定。その他は継続審議とする。

5.承認 35000 円、6.承認 7.承認 1万円1日

8.「美かの」バス、佐藤邦裕会員に運転依頼

委員会報告

【青少年奉仕委員会 小泉浩一副委員長】

2 月 26 日 (日) 第 21 回日立港 RC 杯中学校野球大会が開催されました。当初 6 チーム参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染のため久慈・河原子中は不参加となり、4 チームでの対戦となりました。ロータリアン 18 名の参加をいただきました。優勝は多賀中、準優勝は大久保中、第三位は泉丘中と助川中 (対戦結果は泉丘中 3 位、助川中 4 位) です。

今後の課題は中学校の生徒数が減少しチームが組めなくなることです。しかし、顧問から伝統あるこの大会の継続を望む声が聞かれました。次の青少年奉仕活動として 3 月 19 日 (日) 久慈中学校体育館において、日立港 RC 杯中学校女子バスケットボール大会が開催されます。集合は 7 時 50 分、開会式は 8 時 10 分からです。応援よろしくお願ひします

【社会奉仕委員会 勝山起一副委員長】

2 月 23 日 (祝木)、ホテルグランド東雲において開催された地区社会奉仕セミナーに、佐藤邦裕奉仕プロジェクト委員長と出席したので報告します。

■基調講演

「地球温暖化・気候変動の現状と対策」

茨城大学地球・地域環境共創機構特命教授 三村信夫

■活動事例発表 I 日立中央 RC

ひたち郷土かるた

事例発表Ⅱ 高萩 RC

ラジオ放送による萩っ子英語発表会

事例発表Ⅲ 土浦 RC 体験型子ども食堂

■地区ロータリー財団委員会

補助金申請について 2820 地区 R 財団委員

本日のプログラム

外部卓話 齋藤英俊様 ・ 本多仁志様
『ひたちの水道』



私、水道課の齋藤と申します。こちらは浄水課の本多でございます。本日は水資源の活用という観点から「ひたちの水道」についてお話をさせていただきたいと思います。

次に日立の水道の推移です。こちらは、給水人口と施設能力の推移のグラフになります。★水道水を作りだす能力である施設能力は、創設時1日当たり4,980 m³でしたが、拡張時代を経て、1日当たり115,000 m³まで増設され、★1990年の給水人口のピーク時では199,385人の水をまかないました。その後、施設能力は★2004年11月に旧十王町との合併を経て、さらに★2016年4月には中里地区と諏訪大平田地区の簡易水道事業を統合し、総合的な施設能力として、1日当たり119,774 m³あまりとなっています。しかし、一方で本市の人口は減少傾向が進んでおり、2021年3月末で給水人口は170,992人と減少してしまいました。これは、同時に必要となる給水量の減少を示しており、水道事業としては「拡張」の時代から、いかに効率的、効果的に水の運用をしていくかが問われる「維持管理」の時代に移ってきたことを示しています。後ほどお話しますが、これにより様々な課題が生じており、企業局としては、全国的な事例等を参考にしながら、対応に苦慮しているところです。

1. 日立市水道事業の概要
～日立の水道のはじまり～

- 昭和21年12月、日立水道株式会社を買収し昭和23年10月に発足したのが始まり
- 第一期(昭和26年)から第六期(平成13年)までの約50年にわたる拡張工事を行い、昭和35年に森山浄水場の通水を開始した

※ ひたちの水道より P1

最初に大きな1番、本市の水道事業の概要についてお話をさせていただきたいと思います。

まずは、日立における水道のはじまりについてです。本市の水道事業は、昭和21年12月、市民生活に欠かすことのできない上水道の供給を市が行うべきとの考えから、日立水道株式会社を買収し、昭和23年10月に発足したのが始まりです。

発足後、市の水道事業として、第一期から第六期までの約50年にわたる拡張工事を行い、人口増に伴う需要の増加に対応してきました。現在、市内の約80%をまかなう森山浄水場は昭和35年に運転を開始しています。

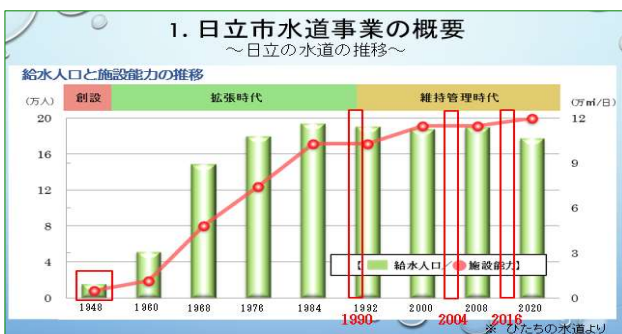
1. 日立市水道事業の概要
～水道施設の位置図～

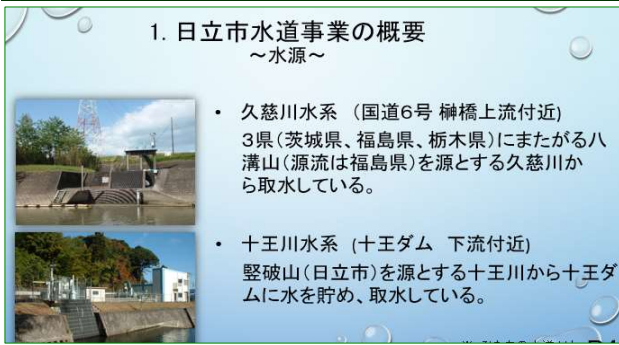
久慈川
十王川

こちらは、主要な水道施設の位置図になります。

日立市の水は、主に久慈川と十王川を水源としています。★久慈川の水は、市の最南端から滑川地区まで水を送っており、市が給水する区域の約80%をまかっています。境目としては、田尻町のかみあい団地から、東滑川町のシーマークスクエア(旧公設市場)付近を境として、それより以北の区域である残り20%については十王川の水を水源としています。ちなみに久慈川からの水は森山浄水場で、十王川の水は十王浄水場で、それぞれ川からとった水をきれいにして水道水にして、皆さまのご家庭に届けられているわけです。

企業局では、いつでも安心して飲める、安全でおいしい水道水を、皆さまのご家庭にお届けしています。





さて、ここで水道水がどの様に皆さんのところに届けられているか説明します。

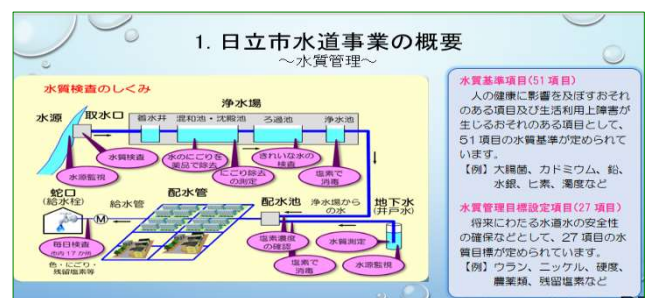
まずは、水道の大元である水源を紹介したいと思います。こちらの写真が水源となる川から水をとる施設である取水場になります。まずは、八溝山を源とする久慈川ですが、場所は国道6号線榊橋の上流、久慈川の北側の堤防付近にあり、国道6号線榊橋の下り車線からも見る事ができます。次に豎破山(たつわれさん)を源とする十王川ですが、十王ダムに貯まった水を利用して取水しており、ダムの下流付近に施設があります。ダムの水は水道水のほか、農業や発電所の水としても利用されます。



次に、川から取水した水をきれいにして水道水にする浄水場を紹介します。まず、森山浄水場は久慈川からの水をきれいにして水道水にする施設です。この施設は増改築を繰り返しながら昭和35年の運転開始から63年間、水道水を供給しています。施設能力としては1日当たり103,000m³ありますが、施設の老朽化が進んでいるのが現状です。次の十王浄水場は、十王川からの水をきれいにして水道水にする施設です。この施設は平成10年に運転開始しており、運転開始から25年と比較的新しい浄水場であります。施設能力は1日当たり16,000m³あります。ちなみに余談ですが、森山浄水場と十王浄水場の施設能力を合わせると、1日で25mプール約330杯分の水をつくる事が可能ということになります。



次に、浄水場で作られた水道水を皆さんのご家庭に配るために必要となる送、配水施設をご紹介します。浄水場でつくられた水道水は、適正な水量と水圧により各家庭に送り届けることとなります。その役割を担うのが配水池、ポンプ場、送水管、配水管の送・配水施設です。本市では、東西に高低差のある地形を利用し、配水池を高台に設け、高低差を利用して各家庭に水道水をお届けするのが基本です。そのため、浄水場からの水道水をポンプ場を経由させ、送水管と呼ばれる水道管で高台にある配水池に水を押し上げることが必要になります。水道水は、1日の生活の時間帯により使用水量に変化が生じます。これに対応して、配水池では、水を貯め込み、水質や水量を調整しています。また、配水池から各家庭に水道水を送り続ける役割を担うのが配水管と呼ばれる水道管です。この水道管は、市内の道路の地下に網の目のように張りめぐらせており、その距離は952キロメートルもあり、仮に、この配水管1本に繋がった場合、日立市から福岡県まで行ける距離に相当します。



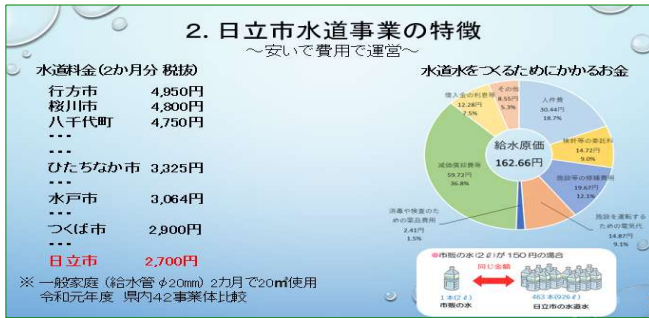
次に、皆さまに安心して水道水を飲んでいただくために必要な水質管理について紹介します。

水道水が安全で安心して飲める水であるためには、守るべき基準があります。本市の水道水は、水道法による51項目にもおよぶ水質基準のほか、独自に27項目の水質管理目標を定めており、その基準に従い水質管理を行っております。

また、浄水場で、24時間の水質管理を水質モニ

ターなどの機器で行っているほかに、職員による1日2回の手分析や、におい、味等の確認も行っており、徹底した水質の監視が実施されています。

さらには、配水場や各家庭等、市内各所でも水中の病原微生物を消毒する塩素の量を測定するなど、きめ細やかな管理をして、皆さまに安全な水を飲んでいただけるようにしています。



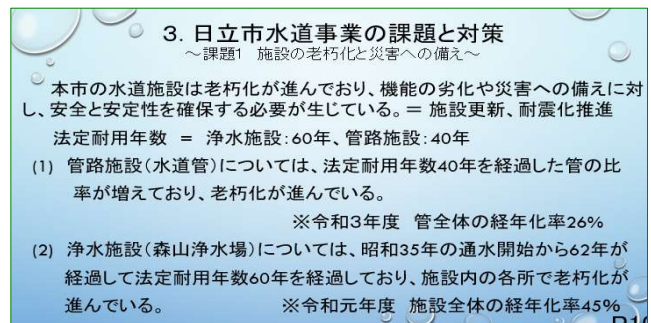
次に大きな2番、本市の水道事業の特徴について話します。まず、1つ目の特徴としては、安い費用で運営されていることです。それを表す事例として、まず、水道料金を紹介すると安全な水道水をつくり、皆さまのご家庭に届けるためには、たくさんのお金がかかります。本市では、一部、国などからお金を借り入れるなどしていますが、そのお金の大部分は皆さまからの水道料金でまかなわれています。

仮に一般家庭(給水管20mm)で2か月で20tの水を使用した場合を基準として、県内の水道事業者の水道料金で一律に比較してみますと、日立市は2か月で2700円と、県内一安い料金となっています。また、別の事例として、水道水をつくるためにかかるお金として、川から取った水を水道水にするためのお金を給水原価といいます。これを基準とした場合、日立市では現在1m³(1T)当たり約162円で水道水をつかっており、市販のペットボトル水2リットルを150円として換算すると、同じ価格で毎日、しっかりと水質管理された安全な水が463本分提供されていることになり、大変お得だと思います。



次に、2つ目の特徴として、本市は、水道施設が総数で90施設と非常に多いという特徴があります。これは、本市の地形が、西高東低で山から海に高低差があり、南北に長い地形であることから、久慈川系、十王川系どちらの配水系統にも、西側の高い位置に配水場等を配置し、そこへ送水するにも、そこから配水するにも施設が必要になるからです。また、山側の団地開発等が順次、進んだこともあり、既存の配水池より高い位置に新たな団地できると、新たなポンプ場や小規模配水池が必要となり、これを繰り返したことにより施設数が増加したという経緯もあります。

このため、大きな配水池から先の配水方法も複雑であり、水量、水質等を管理する部署も苦労しながら、管理運用しているという実情です。



次に大きな3番、本市の水道事業の課題と対策について話します。まず、課題1として施設の老朽化と災害への備えが挙げられます。冒頭にも説明しましたが、本市の水道事業は発足から76年が経過しており、その間に整備、拡張された水道施設の老朽化は確実に進んでいるのが現状です。現在、水道事業では、老朽化の目安として地方公営企業法に定められた法定耐用年数を基準としており、耐用年数を経過した施設は改築や更新を行うこととしております。耐用年数は細かく分類され定められていますが、代表的な例としては、浄水施設の60年と管路施設の40年が挙げられます。これをふまえ、本市の老朽化の現状を話しますと、管路施設では、耐用年数を超えた管の比率を示す経年化率が管全体の26%に上っており、急速に老朽化が進んでいると言えます。また、浄水施設についても、最も古い森山浄水場において、耐用年数を超えた施設の比率を示す経年化率が45%となり、改築・更新の時期となっていることを示しています。老朽化が進むということは、機能の劣化はもちろん、最近毎年のように起こる自然災害等

への対応も不十分となることから、安全と安定性を確保するためには、是非とも対応していかなければならない重要な課題と言えます。

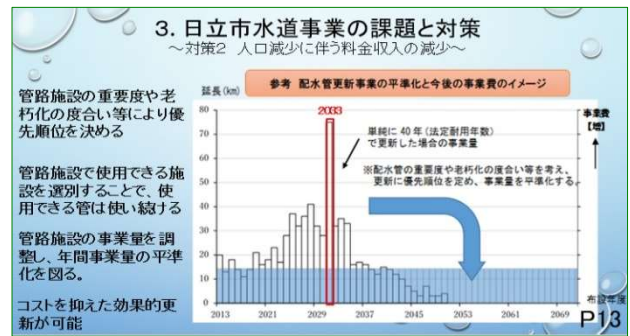
それでは、この課題1施設の老朽化と災害への備えに対する、現状の対策について話します。

まず、本市では、老朽化による機能低下や自然災害へ対応するため、管路施設の更新と耐震化に重点をおき、水道管の更新(取り替え)を進めています。これは、総延長 1030 kmにおよぶ管路施設の更新は、その事業量が膨大であるため、先行して進めてきたという経緯があります。

具体的には、古くなった水道管を撤去し、地震につよく、長持ちする新たな水道管に入れ替えるものです。最近の水道管は、管と管との連結部や、素材、塗装に工夫をしており、東日本大震災クラスの地震にも耐えられ、かなり長期間もつのではないかとされています。また、浄水施設につきましては、適正に維持管理しつつ、施設の改築、更新に向け取りかかっているところです

水意識の定着等、様々なことが考えられましたが、将来においても、人口減少が続くとみられ、給水人口及び給水量の減少傾向が継続すると予測されています。水道料金は、使用水量に基づいて算定されますので、このことは、水道事業としての収入の減少を意味しています。よって、今後の事業継続の検討に当たっても、この傾向を十分に加味して事業運営を考えていく必要があります。

また、このことは、人口減少を見据えた適切な水道施設の規模、すなわちダウンサイジングを考えていかなければならないことをしめています。



それでは、この課題2人口減少に伴う料金収入の減少に対する、現状の対策について、お話します。まず、本市においては、管路施設を先行して老朽化対策を進めていることはお話しさせていただきました。しかし、このグラフをご覧ください。

棒グラフは、単純に法定耐用年数40年を経過した管を更新(取り替え)した場合の事業量を示していますが、このままでは、2033年に膨大な事業量を行わなければならないこととなります。これは料金収入の減少が進む現状にあって大きな負担となります。そこで、管路施設の重要度や老朽化の度合い等を考え、更新に優先順位を設けることで、事業量を調節して平準化し、事業の進捗を図ろうとしています。具体的には、古くても使える管は使い、少しでも長く使用していくことで、延命化を図り、交換時期を調整するという事です。

こうすることにより、人口減少に伴う料金収入の減少と施設更新の事業量の増大という相反する状況を調整することができ、効果的に施設の更新と耐震化を進めています。しかし、今後は浄水場などの大型施設の更新も必要となってくることから、ますます厳しい状況となることが想定されます。そのため、より効果的な事業運営に向け、経営の効率化と経営基盤の強化に向けた様々な努力を継続していく必要が生じています。



次に、課題2として人口減少に伴う料金収入の減少を挙げたいと思います。こちらのグラフをご覧ください。これは、過去10年間の実績を基に時系列分析し、予測された給水人口と給水量を表しています。グラフからは給水人口と給水量*が右肩下がりの減少傾向にあることが分かります。

要因としては、人口減少、節水機器の普及、節

3. 日上市水道事業の課題と対策

～課題3 久慈川の渇水と海水遡上～

近年の異常気象の影響を受け、森山浄水場の取水源である久慈川では、渇水時に海水遡上が生じ取水に影響が生じている。

久慈川水源の取水口は、河口から4.3kmと近い

異常気象などの影響により、久慈川水量減少(渇水)

海水(塩分)が取水口まで遡上、水道水がつかれない=取水停止

次に課題3 としまして久慈川の渇水と海水遡上への対応が挙げられます。本市では、市内の80%の水を担う久慈川において、水源である取水口が河口から4.3kmと、海に比較的近いところから水をとっています。これまでも久慈川の水量が減る渇水の際に、海水が河口から遡上することがありましたが、近年は異常気象などの影響を受け、久慈川の渇水と海水遡上が度々起こる様になり、一時的に取水を停止する事態に陥っています。

これは、水の安定供給をし続けることが必要な水道事業としては大きな課題となっています。

3. 日上市水道事業の課題と対策

～対策3 久慈川の渇水と塩分遡上～

土堰堤築上の様子

土堰堤の様子

久慈川取水場

海水遡上

土堰堤設置

※ 日上市上下水道事業経営戦略より ※ ひたちの水より

それでは、この課題3 久慈川の渇水と海水遡上に対する、現状の対策について話します。

こちらの写真をご覧ください。久慈川に土堰堤という土塁を築いている様子です。これは、取水口の下流側に土塁を築くことで海水の遡上を遮り、同時に渇水等で減った水量を貯めておくための措置です。この方法は、一級河川の流れを遮ることになるため、国の許可を得て行っており、渇水や海水遡上が解消し次第、速やかに撤去することが求められます。そのため、この設置には、手続き時期や効果的な設置期間、水を取れない期間中の使用水量を見越した水道水の保有量等、様々な検討が必要であり、毎回、難しい判断を迫られます。このため、根本的な安定供給に向け、水源の確保の検討が必要となっていました。

4. 今後の水道事業への取組み

～事業計画の経緯～

平成24年度 日上市水道施設更新計画
東日本大震災の経験をふまえ、老朽化した施設の更新と耐震化を計画的に進めるため策定された。

平成30年度 日上市上下水道事業経営戦略
上下水道事業の総合的な計画を作成するため、日上市水道施設更新計画を時点修正し、他の計画と統合した企業局全体の計画を策定。

令和3年度 安定水源確保策の検討に伴う事業方針変更
度重なる久慈川の渇水や海水遡上に対応するため、令和3年度の経営戦略内容を見直し、事業方針の変更を行った。

次に大きな4番、本市の今後の水道事業への取組みについて話します。

まず、我々の事業を行うのに欠かせない事業計画の経緯です。これまで、本市においての様々な課題や、厳しい経営環境の中での運営状況については説明してきましたが、これらを、より効果的に進めるために必要なのが事業計画です。まず、平成24年に東日本大震災の経験をふまえ、老朽化した施設の更新と耐震化を計画的に進めるため策定されたのが日上市水道施設更新計画です。次に上下水道事業の総合的な計画を作成するため、日上市水道施設更新計画を時点修正し、他の計画と統合した企業局全体の計画を策定したのが、日上市上下水道事業経営戦略になります。通常ならこの事業計画を継続していくところですが、先ほど課題3でも挙げた久慈川の渇水と海水遡上の回数が多く、水の安定供給が課題となったため、安定的な水源の確保にむけた検討を進め、令和3年度に事業方針の変更を行っています。

4. 今後の水道事業への取組み

～安定水源確保策の検討に伴う事業方針変更～

従来計画

- 【管路施設】管の重要度、老朽化の度合いに合わせ、優先順位を付けて、耐震性能のある新しい管へ交換
- 【浄水施設・送配水施設】久慈川の浄水場を施設規模を小さくして建てかえ
- 【配水系統】現在の系統区域で水を運用
- 【久慈川(渇水・海水遡上)】土堰堤設置、調整池(新)により、取水停止時に貯水し、水量確保

変更

既存施設の革命化によるコスト削減
給水量の減少に合わせた施設の削減
配水系統の変更による久慈川系配水の負担軽減

方針変更

- 【管路施設】耐震・劣化調査 必要に応じ交換 = 延命化・コストの平準化
- 【浄水施設・送配水施設】十王川系 機能強化 久慈川系 耐震・劣化調査 補強順次設備廃止 = 延命化・ダウンサイジング
- 【配水系統】十王川系区域拡大 久慈川系区域縮小 = ダウンサイジング
- 【久慈川(渇水・海水遡上)】配水系統区域の変更による負担軽減により、水量確保 = 安定した水運用

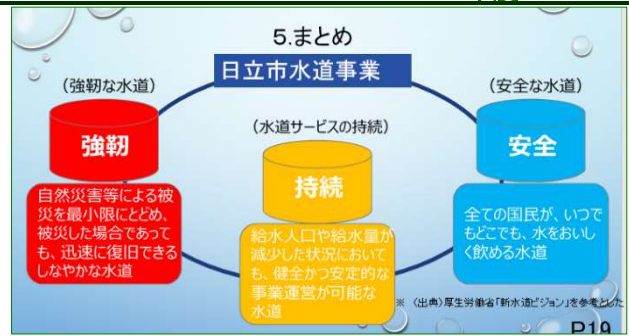
それでは、従来計画から安定水源確保策の検討に伴い、どの様な変更がなされたのか話します。管路施設では、今までも管の重要度、老朽化の度合いにより、優先順位を付けて、新しい管へ交換を推進してきたものを、耐震、劣化調査を行い、より厳しく必要性を検討して交換や修繕を行うようにします。浄水施設・送配水施設では、森山浄水場等、施設の建てかえを主流としていた考えを改め、十王浄水場の機能強化と、森山浄水場を調査、補強して既存の設備を使い続ける延命化を進

め、給水量の減少に合わせて順次、設備の使用を取りやめることで施設のダウンサイジングを進めることとしました。また、施設の整備状況に併せ、配水系統の区域は、当初、変更をしないとしていたものを、十王川系の配水区域の拡大と久慈川系の配水区域の縮小を進めることとしています。これに伴い、久慈川の海水遡上対策についても、土堰堤の設置と調整池による貯水量の確保により対策していくとしていたものを、配水系統の区域変更による久慈川系配水区の負担軽減により、取水量を少なくすることで、対応することとしました。方針変更の基本的な考え方としましては、単純に古い施設を造り直すのではなく、使える施設や管路は状態を確認して使用し続け、今ある施設を使いきることに方針を変更したものとと言えます。(これは、本市独自のものではなく、先進地における考え方を参考としています。)



それでは、今後の事業方針について、概略ですが具体的な説明したいと思います。まず、第Ⅰ期として十王浄水場の機能強化と森山浄水場の延命化を推進し、令和16年度を目標として十王川系の配水区域の拡大に必要な設備の整備を進めます。

これにより、現在、田尻町(かみあい団地入口)から東滑川町(シーマークスクエア)付近の区域界が、茨大南の鮎川を境にした区域界まで南下する予定で、久慈川系と十王川系の水の配分割合は8:2から5:5になる予定です。この際、このタイミングにあわせ、必要に応じ、森山浄水場の設備を順次、取りやめていくことでダウンサイジングを進めていきます。また、その後については、第Ⅱ期とし、令和41年に久慈川系と十王川系の割合が2:8となるような施設能力を保持しつつ、災害時等の危機管理に備えた水の運用について検討を進め、安定供給に向けた取組みを強化していく予定です。



最後に5まとめです。何度も話してきましたが、今後、人口減少に伴う料金収入の減少や老朽化した施設の増加、頻発する自然災害への備え等、厳しい経営環境にある中、より効果的で計画的な事業の運用が求められている。本市では、日立市水道事業として、強靱・持続・安全を大きなテーマに掲げております。今後も2つの水源と今ある施設を財産と考えると、有効に活用していく工夫を重ね、様々な取組みを行っていくことで、これらのテーマの実現に向け努力していく所存です。説明は以上です。ご清聴ありがとうございました。

今週の会場の花
"コデマリ" 花言葉：品位



閉会点鐘 山口憲生 会長

第21回日立港RC杯中学校野球大会報告

青少年奉仕委員長 山口彰二
同 副委員長 小泉浩一

2月26日(日)日立市民運動公園野球場にて実施された。(2月25日(土)は久慈中、泉丘中にて予選を実施)2月26日は泉丘中対助川中の3位決定戦、大久保中対多賀中の決勝戦が行われた。

当日は天気にも恵まれ、開会式では山口会長が挨拶された。決定戦開始前、山口会長による始球式があり見事な投球でした。3位決定戦の結果は10-1で泉丘中が勝利、決勝戦は7-3で多賀中が優勝、大久保中が準優勝した。閉会式では優勝旗、優勝杯、準優勝杯が授与され、さらに最優秀選手、優秀選手に加えベストナインが表彰された。コロナの影響で入学以来制限が続いた選手たちにとって久しぶりの大会、しかも市民運動公園野球場の電光掲示板に自分の名前が表示されることは大変嬉しい、楽しい一日となったことと思います。

日立市内の中学校では生徒の減少もあり、野球

部員の確保にも苦労があるようですが、本大会が少しでも選手の励みになるよう来年以降も継続していきましょう。また大会委員長の前野先生（久慈中）からは、最優秀選手、優秀選手に加え、ベストナインも表彰され多くの選手が選ばれたことに感謝の言葉がありました。

以下山口会長挨拶、講評です。

会長開会挨拶

会長 山口憲生

今大会開催にあたり挨拶します。第 20 回大会は準備しましたが開催を中止、次年度は計画自体が中止、今回 3 年ぶりの開催です。しかも新型コロナ禍対策として急遽変則的な開催となりましたが、このような環境の中出場の準備をされた関係者、生徒の皆さんに敬意を表します。ロータリークラブは世の中に何か良いことをしようという職業人の集まりで、中でも今大会のような青少年育成に力を入れています。「育成」とは生徒の皆さんが健康な成人に育っていただくことです。「健康」とは、体と心がともに健康なことを言います。ここ 3 年間は新型コロナ感染症対策でこれが思うようにできなくなりました。5 月にはようやく感染症分類が第 5 分類に変更され活動の制限もかなり緩和されそうですが、この間の様子は、身体的な健康（感染防止）問題だけでなく、心の健康問題が現れていると思います。この状況からの回復にはスポーツの役割が大きいと思います。皆さんにとってこの大会がそのきっかけとなることを願い、主催者の挨拶とします。

同大会 RC 会長講評

本大会の結果は発表・表彰の通りですので、試合を観戦しての感想を述べ、講評にかえます。

まず、スコアはともかくとして、選手の皆さんの、各プレーに対する一所懸命な姿勢です。試合進行が緊迫・白熱し観戦していても感動的なプレーが多かったと思います。たとえミスが出てすぐにかバーし真摯なプレーに戻っています。その意味で今日の反省材料も多々あったかと思いますが、よく振り返り今後に役立ててください。特にフェアプレーが大事です。公平さとか公正という、道徳的な意識ですが、ロータリーでも重要な価値観の一つとして取り上げています。

どうか皆さんが野球というスポーツを通して正しくたくましい成人に成長されることを期待し、かつ祈って私の講評とします。

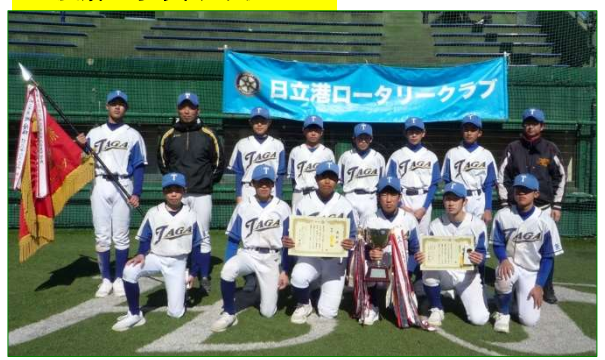


山口会長挨拶

山口会長始球式

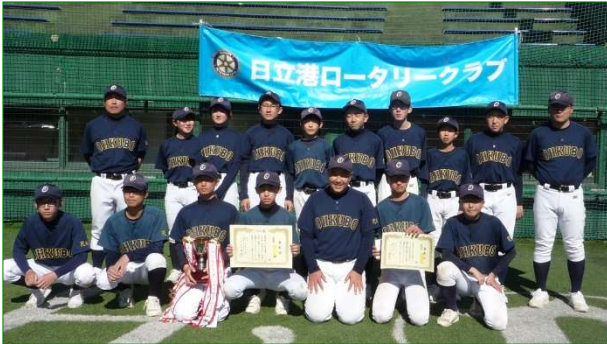


優勝 多賀中学校





準優勝 大久保中学校



第三位 泉丘中学校 ・ 助川中学校



最優秀・優秀選手・ベストナイン



★★ 行事の申込受付案内 ★★

- ◆ 日立港 RC 杯第 9 回中学校女子
バスケットボール大会 7 時 50 分集合
3 月 19 日 (日) 久慈中学校体育館
- ◆ 観桜例会親睦ゴルフコンペ
4 月 6 日 (木) グランドスラム CC

- 3 月 16 日 (木) 例会 12:30~ 美かの
「会員卓話 宮田秀昇 さん」
「私と RC 松橋好徳 さん」
- 3 月 23 日 (木) 例会 12:30~ 美かの
「会員卓話 調整中」
「私と RC 小松弘二 さん」

編集後記

手っ取り早く汗をかきスッキリしたくて、最近サウナや岩盤浴にはまっている。最初はいくらサウナに入っても、ただ熱いだけで全く汗をかく事はなかった。汗もかかず黙浴ともあり、つまらないので勝手に人間観察をして楽しむ。常連さんらしきお方。自分の所定の位置を常に確保。サウナから出ると躊躇なく水風呂に肩までダイブ。しばらくそのまま瞑想。見ただけで、私の心臓が止まりそう。ところで、世間で言う「ととのう」感覚がよくわからない。何を持って「ととのう」という表現を使うのだろうか？常連の彼女もあたかも「ととのってる」様な顔つきでいる。TVでも、幸せそうな顔をしながら「ととのいました！」と言っている。そんなのを見てしまうと、私もどうしてもととのいたくなる。実は毎回「ととのっている」のかもしれない。ただ単にそれに気づかないだけなのだろうか？これは私の問題なのか？と薄々感じている。胸を張って「ととのいました！」と言える時を楽しみに、今日も懲りずにサウナへ行こうと思う。(ご)

発行：日立港口ロータリークラブ (翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

神山靖基 木村昌永 五来美奈

平田伸一 中野紀子 (事務局)

URL : <http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail : info@hitachi-ko-rc.com